

## ■スペイン：マドリード市、NO<sub>x</sub> 排出量などに応じた駐車料金を導入

2014年3月6日付報道によると、スペインのマドリード市は、持続可能な社会作りの一環として、公共駐車場のサービスを規定した「駐車サービス規制（SER）」を修正した。これにより2014年6月から、青線や緑線で区分されたSER指定の駐車スペースには、スマートメーターを利用した世界でもユニークな駐車料金が設けられることになった。青線の駐車スペースの料金は、車両のNO<sub>x</sub>排出量と、駐車メーターでリアルタイムに計測される駐車スペースの混み具合によって変わることになる。ただし、カーシェアリングに利用されている車は固定料金で時間無制限に駐車でき、また、ユーロタクシー（非営利企業が運営する障害者用タクシー）は、メーターがついている駐車スペースに無料で駐車でき、運転手は乗客介助のためにタクシーを止めたまま車輦を離れることができる。さらに、環状線の首都高速であるM30号線の内側のエリアに、交通渋滞解消のため、遠方からマドリードに来た長距離用車両専門の青線駐車スペースが1,354創設され、そこでは割引料金で12時間まで駐車できる。マドリード以外の住民が駐車できる時間は、緑線の駐車スペースでは従来の1時間から3時間に、青線の駐車スペースでは従来の2時間から4時間に延長される。さらに12月24～31日の間に駐車料金が無料となる時間帯は、従来の21時以降から15時以降に拡大される。